



- 4

(1) 曲線  $x = -y^2 + 2y - 2$ ,  $y$  軸, 2 直線  $y = -1$ ,  $y = 2$  で囲まれた図形の面積  $S$  を求めよ。

(2) 曲線  $x = y^2 - 3y$  と直線  $y = x$  で囲まれた図形の面積  $S$  を求めよ。

- 5

$a$  は正の定数とする。放物線  $y = x^2 + a$  上の任意の点  $P$  における接線と放物線  $y = x^2$  で囲まれる図形の面積は, 点  $P$  の位置によらず一定であることを示し, その一定の値を求めよ。

- 6

$a$  は  $0 < a < 1$  の範囲の定数とする。直線  $\ell: y = 1 - a^2$  と曲線  $C: y = 1 - x^2$  ( $x \geq 0$ ) について

(1) 曲線  $C$ ,  $y$  軸, 直線  $\ell$  で囲まれる部分の面積を  $S_1$  とし, 曲線  $C$ , 直線  $\ell$ , 直線  $x = 1$  で囲まれる部分の面積を  $S_2$  とする。 $S_1$ ,  $S_2$  を  $a$  を用いて表せ。

(2)  $S = S_1 + S_2$  とおくとき,  $0 < a < 1$  の範囲における  $S$  の最小値を求めよ。

1  $a$  を正の実数とし、点  $A\left(0, a+\frac{1}{2a}\right)$  と曲線  $C: y=ax^2$  および  $C$  上の点  $P(1, a)$  を考える。曲線  $C$  と  $y$  軸、および線分  $AP$  で囲まれる図形の面積を  $S(a)$  とするとき、 $S(a)$  の最小値と、そのときの  $a$  の値を求めよ。

解答  $a=\frac{\sqrt{6}}{4}$  のとき最小値  $\frac{\sqrt{6}}{3}$

解説

直線  $AP$  の方程式は  $y=\frac{a-\left(a+\frac{1}{2a}\right)}{1-0}x+a+\frac{1}{2a}$

すなわち  $y=-\frac{1}{2a}x+a+\frac{1}{2a}$

したがって

$$S(a)=\int_0^1\left\{\left(-\frac{1}{2a}x+a+\frac{1}{2a}\right)-ax^2\right\}dx$$
$$=\left[-\frac{a}{3}x^3-\frac{1}{4a}x^2+\left(a+\frac{1}{2a}\right)x\right]_0^1=\frac{2}{3}a+\frac{1}{4a}$$

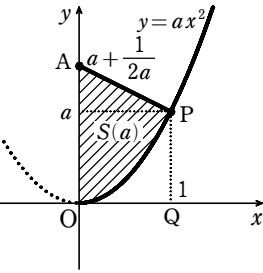
$a>0$  であるから、(相加平均) $\geq$ (相乗平均)により

$$S(a)=\frac{2}{3}a+\frac{1}{4a}\geq 2\sqrt{\frac{2}{3}a\cdot\frac{1}{4a}}=2\sqrt{\frac{1}{6}}=\frac{\sqrt{6}}{3}$$

等号が成り立つのは、 $\frac{2}{3}a=\frac{1}{4a}$  すなわち  $a^2=\frac{3}{8}$  のときである。

$a>0$  であるから  $a=\sqrt{\frac{3}{8}}=\frac{\sqrt{6}}{4}$

よって、 $S(a)$  は  $a=\frac{\sqrt{6}}{4}$  のとき最小値  $\frac{\sqrt{6}}{3}$  をとる。



2 曲線  $y=x^3-6x^2+9x$  と直線  $y=mx$  で囲まれた 2 つの図形の面積が等しくなるような定数  $m$  の値を求めよ。ただし、 $0<m<9$  とする。

解答  $m=1$

解説

曲線と直線の交点の  $x$  座標は、 $x^3-6x^2+9x=mx$  を解くと、 $x(x-3)^2=mx$  から  $x[(x-3)^2-m]=0$

$0<m<9$  であるから  $x=0, 3\pm\sqrt{m}$

ここで、 $3-\sqrt{m}=\alpha, 3+\sqrt{m}=\beta$  とおくと  $0<\alpha<\beta$

2 つの図形の面積が等しくなるための条件は

$$\int_0^\alpha\{(x^3-6x^2+9x)-mx\}dx=\int_\alpha^\beta\{mx-(x^3-6x^2+9x)\}dx$$

よって

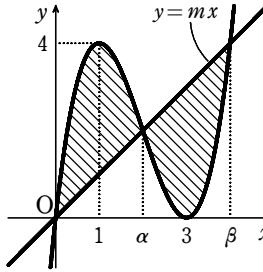
$$\int_0^\alpha\{x^3-6x^2+(9-m)x\}dx-\left[-\int_\alpha^\beta\{x^3-6x^2+(9-m)x\}dx\right]=0$$

したがって  $\int_0^\beta\{x^3-6x^2+(9-m)x\}dx=0$

左辺の定積分を  $I$  とすると  $I=\left[\frac{x^4}{4}-2x^3+\frac{9-m}{2}x^2\right]_0^\beta=\frac{\beta^2}{4}\{\beta^2-8\beta+2(9-m)\}$

$I=0$  のとき、 $\beta\neq 0$  であるから  $\beta^2-8\beta+2(9-m)=0$

$3+\sqrt{m}=\beta$  を代入して  $m+2\sqrt{m}-3=0$



よって  $(\sqrt{m}-1)(\sqrt{m}+3)=0$

$\sqrt{m}+3>0$  であるから  $\sqrt{m}=1$  すなわち  $m=1$  ( $0<m<9$  を満たす)

3  $f(t)=\int_0^1|x^2-tx|dx$  とする。 $f(t)$  の最小値と、最小値を与える  $t$  の値を求めよ。

解答  $t=\frac{\sqrt{2}}{2}$  のとき最小値  $\frac{2-\sqrt{2}}{6}$

解説

$g(x)=x^2-tx$  とする。

$g(x)=0$  の解は  $x=0, t$

[1]  $t\leq 0$  のとき

$0\leq x\leq 1$  では  $g(x)\geq 0$

よって  $f(t)=\int_0^1g(x)dx=\int_0^1(x^2-tx)dx$

$$=\left[\frac{x^3}{3}-\frac{t}{2}x^2\right]_0^1=\frac{1}{3}-\frac{t}{2}$$

[2]  $0<t<1$  のとき

$0\leq x\leq t$  では  $g(x)\leq 0,$

$t\leq x\leq 1$  では  $g(x)\geq 0$

よって  $f(t)=-\int_0^tg(x)dx+\int_t^1g(x)dx$

$$=-\left[\frac{x^3}{3}-\frac{t}{2}x^2\right]_0^t+\left[\frac{x^3}{3}-\frac{t}{2}x^2\right]_t^1$$
$$=-\frac{t^3}{3}+\frac{t}{2}+\frac{1}{3}$$

$$f'(t)=t^2-\frac{1}{2}=\left(t+\frac{\sqrt{2}}{2}\right)\left(t-\frac{\sqrt{2}}{2}\right)$$

$f'(t)=0$  とすると  $t=\pm\frac{\sqrt{2}}{2}$

$0<t<1$  における増減表は右のようになる。

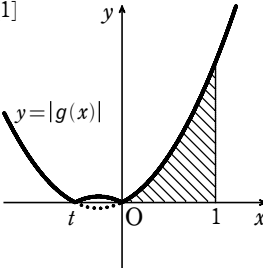
[3]  $t\geq 1$  のとき

$0\leq x\leq 1$  では  $g(x)\leq 0$

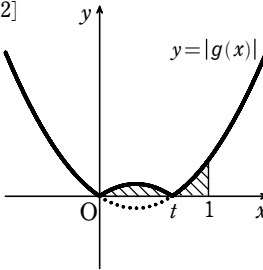
よって  $f(t)=-\int_0^1g(x)dx$

$$=-\left(\frac{1}{3}-\frac{t}{2}\right)=\frac{t}{2}-\frac{1}{3}$$

[1]

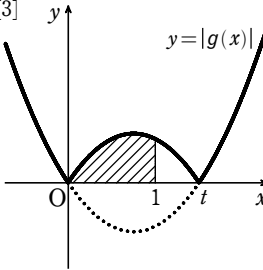


[2]



|         |   |            |                        |            |   |
|---------|---|------------|------------------------|------------|---|
| $t$     | 0 | ...        | $\frac{\sqrt{2}}{2}$   | ...        | 1 |
| $f'(t)$ |   | -          | 0                      | +          |   |
| $f(t)$  |   | $\searrow$ | $\frac{2-\sqrt{2}}{6}$ | $\nearrow$ |   |

[3]

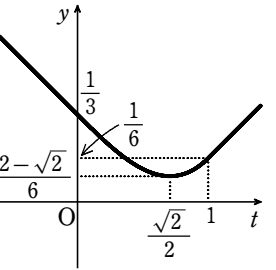


以上から、 $y=f(t)$  のグラフは、右の図のようになる。

したがって、 $f(t)$  は

$$t=\frac{\sqrt{2}}{2} \text{ のとき最小値 } \frac{2-\sqrt{2}}{6}$$

をとる。



4 (1) 曲線  $x=-y^2+2y-2$ 、 $y$  軸、2 直線  $y=-1, y=2$  で囲まれた図形の面積  $S$  を求めよ。

(2) 曲線  $x=y^2-3y$  と直線  $y=x$  で囲まれた図形の面積  $S$  を求めよ。

解答 (1) 6 (2)  $\frac{32}{3}$

解説

(1)  $x=-y^2+2y-2=-(y-1)^2-1$

$-1\leq y\leq 2$  では  $-(y-1)^2-1<0$  であるから、右の図より

$$S=-\int_{-1}^2(-y^2+2y-2)dy$$
$$=-\left[-\frac{y^3}{3}+y^2-2y\right]_{-1}^2$$
$$=-\left\{\left(-\frac{8}{3}+4-4\right)-\left(\frac{1}{3}+1+2\right)\right\}=6$$

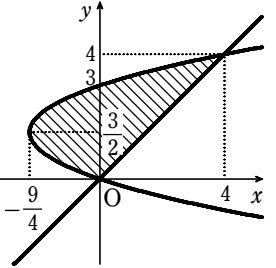
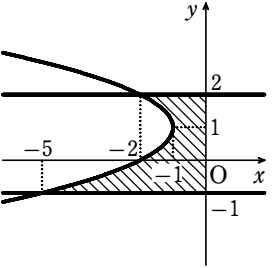
(2)  $x=y^2-3y=\left(y-\frac{3}{2}\right)^2-\frac{9}{4}$

曲線と直線の交点の  $y$  座標は、 $y^2-3y=y$

すなわち  $y^2-4y=0$  を解くと、 $y(y-4)=0$  から  $y=0, 4$

よって、右の図から、求める面積は

$$S=\int_0^4\{y-(y^2-3y)\}dy$$
$$=-\int_0^4(y^2-4y)dy=-\int_0^4y(y-4)dy$$
$$=-\left(-\frac{1}{6}\right)(4-0)^3=\frac{32}{3}$$



5  $a$  は正の定数とする。放物線  $y=x^2+a$  上の任意の点  $P$  における接線と放物線  $y=x^2$  で囲まれる図形の面積は、点  $P$  の位置によらず一定であることを示し、その一定の値を求めよ。

解答 証明略、 $\frac{4a\sqrt{a}}{3}$

解説

$P(p, p^2+a)$  とする。

放物線  $y=x^2+a$  上の点  $P$  における接線の方程式は、 $y'=2x$  であるから

$$y-(p^2+a)=2p(x-p) \text{ すなわち } y=2px-p^2+a$$

この接線と放物線  $y=x^2$  の交点の  $x$  座標を求めると、 $x^2=2px-p^2+a$  から

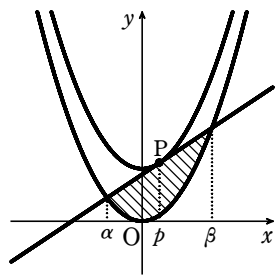
$$(x-p)^2=a$$

$a>0$  であるから  $x=p\pm\sqrt{a}$

$\alpha=p-\sqrt{a}$ ,  $\beta=p+\sqrt{a}$  とおくと、題意の図形の面積は

$$\begin{aligned} &\int_{\alpha}^{\beta}\{(2px-p^2+a)-x^2\}dx \\ &=\int_{\alpha}^{\beta}(-x^2+2px-p^2+a)dx=-\int_{\alpha}^{\beta}(x-\alpha)(x-\beta)dx \\ &=-\left(-\frac{1}{6}\right)(\beta-\alpha)^3=\frac{1}{6}(2\sqrt{a})^3=\frac{4a\sqrt{a}}{3} \end{aligned}$$

よって、題意の面積は点 P の位置によらず一定である。



- 〔6〕  $a$  は  $0<a<1$  の範囲の定数とする。直線  $\ell: y=1-a^2$  と曲線  $C: y=1-x^2$  ( $x\geq 0$ ) について
- (1) 曲線  $C$ ,  $y$  軸, 直線  $\ell$  で囲まれる部分の面積を  $S_1$  とし, 曲線  $C$ , 直線  $\ell$ , 直線  $x=1$  で囲まれる部分の面積を  $S_2$  とする。 $S_1$ ,  $S_2$  を  $a$  を用いて表せ。
- (2)  $S=S_1+S_2$  とおくと、 $0<a<1$  の範囲における  $S$  の最小値を求めよ。

〔解答〕 (1)  $S_1=\frac{2}{3}a^3$ ,  $S_2=\frac{2}{3}a^3-a^2+\frac{1}{3}$     (2)  $a=\frac{1}{2}$  のとき最小値  $\frac{1}{4}$

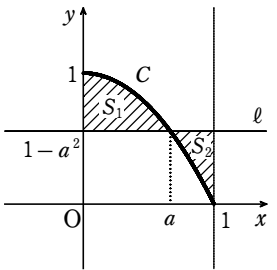
〔解説〕

(1) 直線  $\ell$  と曲線  $C$  の交点の  $x$  座標は、

$$1-a^2=1-x^2 \text{ から } x^2=a^2$$

$x\geq 0$ ,  $0<a<1$  であるから  $x=a$

したがって、図から

$$\begin{aligned} S_1 &= \int_0^a \{(1-x^2)-(1-a^2)\}dx = \int_0^a (a^2-x^2)dx \\ &= \left[ a^2x - \frac{x^3}{3} \right]_0^a = \frac{2}{3}a^3 \\ S_2 &= \int_a^1 \{(1-a^2)-(1-x^2)\}dx = \int_a^1 (x^2-a^2)dx \\ &= \left[ \frac{x^3}{3} - a^2x \right]_a^1 = \frac{2}{3}a^3 - a^2 + \frac{1}{3} \end{aligned}$$


(2) (1) の結果から  $S=S_1+S_2=\frac{4}{3}a^3-a^2+\frac{1}{3}$

ゆえに  $S'=4a^2-2a=2a(2a-1)$

$S'=0$  とすると  $a=0, \frac{1}{2}$

$0<a<1$  における  $S$  の増減表は右のようになる。

よって、 $a=\frac{1}{2}$  のとき、 $S$  は極小かつ最小となり、最小値は

$$\frac{4}{3}\left(\frac{1}{2}\right)^3 - \left(\frac{1}{2}\right)^2 + \frac{1}{3} = \frac{1}{4}$$

|      |   |   |               |   |   |
|------|---|---|---------------|---|---|
| $a$  | 0 | … | $\frac{1}{2}$ | … | 1 |
| $S'$ |   | – | 0             | + |   |
| $S$  |   | ↘ | 極小            | ↗ |   |